



トピックス

2024年1月4日

## 2024年は選挙イヤー～結果次第で相場は波乱の展開に～

### 米国大統領選挙、自民党総裁選、台湾・欧州などにも注目

2024年は主要国で重要な選挙が相次いで行われます。米国大統領選挙では、高齢の大統領経験者の争いが有力視されるほか、日本では自民党総裁選で岸田氏に代わる新しい総裁が選出される可能性があります。欧州、台湾、戦争中のロシア・ウクライナの選挙にも注目です（図表1）。

### 米国大統領選挙

1月15日のアイオワ州党員集会を皮切りに民主党、共和党で大統領候補者を選ぶ予備選が始まります。現状、民主党はバイデン大統領、共和党はトランプ前大統領が候補者となる可能性が高いですが、両者とも高齢であるほか、トランプ氏は複数の訴訟を抱えており、土壇場で候補者が変更となる可能性があり波乱含みの展開となることが予想されます。

バイデン大統領は、ウクライナ支援の継続や気候変動対策を訴えています。トランプ氏など、共和党にはウクライナ支援や気候変動対策に消極的な姿勢を示している候補がおり、米国の安全保障政策や環境政策が転換する可能性があります。バイデン・トランプ氏のどちらも支持できないと考える米国人も増えており、第3の勢力が伸長する可能性もあります（図表2）。

### 自民党総裁選

自民党の政治資金問題などを受けて岸田政権の支持率は2012年の自民党政権復帰以降最低水準となっており、9月までに行われる予定の自民党総裁選で再選する可能性が低下しています。9月の任期を待たず、途中で辞任する可能性もあります。首相交代となる場合、衆院選を見据えて国民の人気が高い候補者が選出される可能性があります。

### その他

まず、1月の台湾総統選挙が注目です。現在の与党である民進党と国民党、民衆党の候補の3陣営が争う構図ですが、対中強硬派の民進党候補が勝利すると中国との緊張感が高まる可能性があり警戒が必要です。

3月には、ロシアとウクライナ大統領選挙が予定されています。両国とも現職のプーチン氏とゼレンスキー氏の再選が有力ですが、選挙前に戦果をあげるべく、戦争が激化する可能性があります。6月の欧州議会選挙では、移民の制限やウクライナ支援縮小を訴える極右政党がどの程度勢力を伸ばすか注目です。

### 市場への影響は

2024年に政治イベントがとくに市場に大きな影響を与えそうな時期は1～3月と11月です。1～3月は、米国大統領選挙の民主党・共和党予備選挙が本格化しトランプ氏をはじめとする候補者の過激な発言が懸念されるほか、台湾やロシア、ウクライナの選挙も予定されており、台湾と中国、ロシアとウクライナ間の緊張感が高まる可能性があります。これらは投資家心理を悪化させ、株価を押し下げ一方、安全資産とされる国債や円買い圧力を強め、円高や金利低下につながる可能性があります。

米国大統領選挙の前後の11月は、選挙前は結果への警戒感から市場は不安定な動きとなりそうですが、選挙後は不透明感が払拭され、株価を押し上げそうです。また、日本では、9月に予定されている自民党総裁選を経て、新たな首相が選出されると、経済対策や規制改革への期待から日本株が上昇する可能性があります。



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
 Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表1.2024年の世界の政治イベント

日程	政治イベント
1月13日	台湾総統選挙
1月15日	米国アイオワ州党員集会（共和党）
2月14日	インドネシア大統領・議会選挙
3月5日	米国スーパーチューズデー（予備選挙・党員集会集中日）
3月17日	ロシア大統領選挙
3月	ウクライナ大統領選挙（戦争中につき中止の可能性）
4月10日	韓国総選挙
4月～5月	インド総選挙
6月6日～9日	欧州議会選挙
7月7日	東京都知事選挙
9月30日	自民党総裁任期満了（これまでに総裁選実施）
11月5日	米国大統領選挙

（注）正確を期しておりますが、変更になる場合がありますので、実際の発表にはご注意ください。

（出所）各種報道より、しんきん投信作成

図表2.米大統領選 主な候補者

所属	民主党	共和党
候補者名	ジョー・バイデン大統領	ドナルド・トランプ前大統領
年齢（歳）※	81	78
主要政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ローンの減免</li> <li>・ウクライナ支援継続</li> <li>・電気自動車購入補助など気候変動対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての輸入品に10%の関税を課す</li> <li>・国境警備を強化し、不法移民抑制</li> <li>・ロシアとウクライナの戦争終結</li> </ul>
所属	共和党	共和党
候補者名	ニッキー・ヘイリー	ロン・デサンティス
年齢（歳）※	52	46
経歴	元国連大使、元州知事	現フロリダ州知事
主要政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出を減らし、財政を健全化</li> <li>・中国への圧力強化</li> <li>・イスラエルを支援し、ハマスを壊滅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国の労働者のための経済政策実行</li> <li>・中国に依存しない経済体制の構築</li> <li>・防衛産業を強化</li> </ul>
所属	無所属	無所属
候補者名	ロバート・ケネディ・ジュニア	コーネル・ウェスト
年齢（歳）※	70	71
経歴	ケネディ元大統領の甥、弁護士	哲学者
主要政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働組合への支援強化</li> <li>・軍事費を削減し、社会保障強化</li> <li>・海外での戦争を止め、米軍を帰国させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油ガス開発の規制</li> <li>・中国と協力し、気候変動対策に取り組む</li> <li>・ロシアとウクライナの戦争終結</li> </ul>

※大統領選挙11月5日時点の年齢

（出所）各候補者の公式サイト、各種報道より、しんきん投信作成

（ストラテジスト 澤村 一樹）



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。